



71

ピロリ菌は胃粘膜に感染して胃炎を起こします。感染は生涯にわたって持続することが多く、胃粘膜の慢性炎症から、萎縮性胃炎、胃や十二指腸潰瘍、胃がんなどさまざまな疾患の原因となります。

国内のピロリ菌感染者は人口の約半数とされています。

ピロリ菌 ⑦ どう除菌？

ピロリ菌の有無を調べる尿素呼気試験 〓 中区の中日病院で



治療の対象になり得ます。それでダメでも、将来の医療費削減にも、抗生剤の種類を変えもつなぐと言えます。た「二次除菌」でほとんどの人が除菌できます。

が、健康保険が適用されるのは、感染が疑われ、内視鏡検査で胃や十二指腸潰瘍、胃炎と診断された方などです。

定期的な内視鏡検査は必要です。

七日間、朝夕食後に抗生剤など三種の薬を飲む「一次除菌」で、約八割の人の菌が消えます。しっかりと除菌できているかを診断するには、吐いた息を調べる尿素呼気試験

(山田尚史内視鏡センター 部長・談)

いますが、ほとんどが症状もなく健康に暮らしています。予防医学の観点からは感染者全員が除菌

中日病院 名古屋市中区丸の内3の12の3。 〓 中日病院 〓 052(961)2491

3種の薬剤 7日間服用